

ロータリー財団

# 申請手続早見用手引き

2011-12年度

国際ロータリーのロータリー財団





# 目次

ポリオ・プラス	1
ロータリーの2億ドルのチャレンジ	1
ポリオ・プラス補助金	1
ポリオ・プラス・パートナー補助金	2
参考資料	2
人道的補助金プログラム	3
マッチング・グラント	3
地区補助金	5
参考資料	6
教育的プログラム	6
国際親善奨学金	6
ロータリー平和フェローシップ	7
研究グループ交換 (GSE)	8
参考資料	10
ロータリー財団学友	11
財団の資金	12
年次プログラム基金	12
恒久基金	12
寄付の送り先	13
寄付の認証	13
参考資料	14
シェア・システム	14
未来の夢計画	15
参考資料	16
リソース	16
一般的な参考資料	16
ゾーンの支援源	17
地区の支援源	17

留意事項および略語

金額はすべて米貨で表示されています。

TRF (ロータリー財団)

DDF (地区財団活動資金)

# ポリオ・プラス

---

## ロータリーの2億ドルのチャレンジ

---

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から、ロータリー財団に対し、ポリオ撲滅のための3億5,500万ドルの補助金が寄せられました。これを受けて、ロータリーは、2012年6月30日までに独自に2億ドルの資金を調達し、補助金に上乗せしてポリオ撲滅に捧げることを目標として掲げました。ゲイツ財団からの補助金は、ロータリアンの努力とポリオ・プラス・プログラムの成功が大きく認められたことを物語っています。

お問い合わせは、日本事務局財団室 (03-3903-3192) まで。

## ポリオ・プラス補助金

---

目的	全国予防接種日、ポリオ・ウイルス伝染の監視活動、その他の活動の実施等、ポリオ常在国、近年発生国、高リスク国における世界ポリオ撲滅への取り組みを支援する。
支給	ポリオ・プラス補助金は、一般のポリオ・プラス基金およびDDF（地区財団活動資金）の配分によって資金が支給される。
申請手続	提案書は主に、世界保健機関やユニセフ、国別ポリオ・プラス委員会の委員長（「Official Directory（公式名簿）」[007-EN]に掲載）などの主要提唱団体が提出する。
決定手続	管理委員会が定例会議において、ポリオ・プラス補助金申請書を審査する。

お問い合わせは、日本事務局財団室 (03-3903-3192) まで。

## ポリオ・プラス・パートナー補助金

---

目的	ポリオ常在国、流入国、高リスク国のロータリアンが提出した、緊急の社会動員や監視プロジェクトを支援する。
支給	ポリオ・プラス・パートナー補助金は、一般のポリオ・プラス基金によって支給される。
申請手続	補助金申請書は、優先国の国別ポリオ・プラス委員長から提出された補助金申請書のみが受理される。
決定手続	補助金申請は1年を通じて審査される。

お問い合わせは、日本事務局財団室 (03-3903-3192) まで。

### 参考資料 .....

「ロータリーの2億ドルのチャレンジDVD」(985-DVD)。ロータリーによるポリオ撲滅活動と、ゲイツ財団からの補助金に2億ドルを組み合わせるための募金計画についての紹介。

「ロータリーの2億ドルのチャレンジ・パンフレット」(986-JA)。ポリオ撲滅へのロータリーの取り組みを紹介し、チャレンジへの支援を呼びかけるパンフレット。

「ロータリーの2億ドルのチャレンジ・ポスター」(987-JA)。ロータリーのチャレンジへの参加を呼びかけるポスター。会合、募金活動、その他の行事での掲示用。

「End Polio Now」襟ピン (988-MU)。「End Polio Now」のマークの付いた襟ピン。

「End Polio Now グリーティング・カード」(983-MU)。世界中の友人や家族にロータリーの功績を伝えることができるグリーティング・カード (12枚セット)。ポリオ撲滅活動の感動的な写真付き。

「End Polio Now ボックス」(989-ENP)。無料進呈品として利用、または募金活動でテーブルに置くアイテム。

「ポリオにうち克つ」(329-MU)。ポリオ・プラスについての歴史や、身体を奪う世界最大の病を撲滅するための国際的なプログラムにおけるロータリーの役割を紹介。インターナショナル・ポリオ・プラス委員会委員で、国際ロータリー元事務総長のハーバート A. ピグマン著作。カラー写真を含む (CDにPDFファイルを収録)。

# 人道的補助金プログラム

---

人道的補助金は、クラブと地区が人道的プロジェクトや奉仕プロジェクトを実施するのを支援します。ロータリー財団の補助金には以下のような特徴があります。

- ▶ ロータリアンが積極的に関与する。
- ▶ ロータリーのネットワークづくりを支援する。
- ▶ 資金管理の指針を厳密に遵守する。
- ▶ 維持可能な開発を目標に、人道的なニーズに取り組む。

## 補助金使用の対象外

- ▶ 土地および建物の購入
- ▶ 建築や改修工事
- ▶ 協力団体または受益者のために働く個人に対する給与、報酬、謝礼
- ▶ 高等教育活動、研究、自己開発または職能開発

## マッチング・グラント

---

目的	他国のロータリアンとの協力の下に実施される人道的奉仕プロジェクトに資金援助を行う。
支給	ロータリー財団は、DDFに対し同額、提唱者からの現金寄付に対し半額を提供する。寄付総額の少なくとも50パーセントは、プロジェクト実施国の外にある、援助国側提唱者から寄せられなければならない。 ロータリー財団から支給される金額は、米貨5,000ドル～米貨200,000ドル。
申請手続	マッチング・グラント申請書(ウェブに掲載)を提出。
締切日	申請書の受付は7月1日から3月31日まで。 米貨25,000ドルを超える金額を要請する申請書は、管理委員会の全体会合により、年に2回審査される。10月・11月の管理委員会会合において審査される申請書の提出期日は8月1日である。また、3月・4月会合において審査される申請書の提出期日は、12月15日である。
要件	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 補助金プログラムは、ニーズを抱える地域社会に恩恵を与える人道的な内容に取り組むものでなければならない。</li><li>▶ プロジェクトは、(既に進行中のものでなく)新規のもので、援助国およびプロジェクト実施国双方のロータリアンが積極的に直接参加するものでなければならない。</li></ul>

- ▶ すべての補助金プログラムを管理する方針に合わせる。方針は、ウェブサイト (www.rotary.org) を参照するか、人道的補助金 (Humanitarian Grants Program) 担当課から入手のこと。

米貨5,000～25,000ドルのマッチング・グラントの協同提唱ロータリー・クラブおよび地区には以下の事項が要請される。

- ▶ プロジェクト状況に関する連絡や対話を維持する。
- ▶ 最少3名のロータリアンからなる委員会を設置する。
- ▶ 地域社会のニーズを共同で調査し、プロジェクトの計画を立てる。
- ▶ 必要に応じて、プロジェクトの現場を訪れること。援助国の協同提唱者は、連絡あるいはプロジェクト実施地を訪問し情報を共有することによって、参加することができる。

競争制マッチング・グラント (米貨25,001～200,000ドル) の協同提唱ロータリー・クラブおよび地区には以下の事項が求められる。

- ▶ 米貨5,000～25,000ドルのマッチング・グラントの諸条件を満たす。
- ▶ 正式な地域社会のニーズ調査を実施する。
- ▶ プロジェクトの実施方法や維持方法を示す情報を提供する。
- ▶ 地域社会が参加し、プロジェクトが地域社会のものであることを証明する。

どのような場合であれ、実施国提唱者が実施できる未完了のマッチング・グラント・プロジェクトは、常に5件までと制限されている。

#### 決定手続 報告

申請書は、8月1日から5月15日までに承認される。

援助国協同提唱者と実施国協同提唱者が協力し、中間報告書と最終報告書を作成、提出しなければならない。プロジェクトの実施期間中、12カ月毎に中間報告書の提出が義務づけられている。最終報告書は、プロジェクト完了後2カ月以内に提出しなければならない。



## 地区補助金

---

目的	地区の奉仕活動や人道的活動を支援する。
支給	3年前の寄付の50パーセントに基づいたDDFの最高20パーセントまで。
申請手続	地区は毎年、地区補助金申請書を1通提出することができる。
締切日	申請書の受付は7月1日から3月31日まで。申請書は、資金が使用できるようになる前のロータリー年度に提出されなければならない。
要件	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ すべての補助金プログラムを管理する方針に合わせる。方針は、ウェブサイト (<a href="http://www.rotary.org">www.rotary.org</a>) を参照するか担当職員 (<a href="mailto:grants@rotary.org">grants@rotary.org</a>) から入手のこと。</li><li>▶ プロジェクト実施地域の希望を尊重し、地元の伝統と文化を理解する。</li></ul> <p>地区の活動には、以下が含まれていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 地域社会のニーズを調査し、プロジェクトの計画を立てる。</li><li>▶ 資金の支出を監督するために、少なくとも3名以上のロータリアンによる委員会を設置する。</li><li>▶ プロジェクト実施に関与する。</li><li>▶ 地域社会が参加し、プロジェクトが地域社会のものであることを証明する。</li><li>▶ 地元の奉仕活動提供者、地元自治体役員、そして(または) 受益者との会合を開く。</li><li>▶ 地元報道機関でプロジェクトを広報する。</li></ul>
決定手続	申請書は、8月1日から5月15日までに承認される。
報告	地区は、中間報告書と最終報告書を作成し、提出しなければならない。プロジェクトの実施期間中、12カ月毎に中間報告書の提出が義務づけられている。最終報告書は、プロジェクト完了後2カ月以内に提出しなければならない。地区は、1度に2件を越える未完了の補助金を保持することができない。地区は、追加の補助金の支払いを受ける前に、1件の地区補助金の少なくとも50パーセントを支出し、それを報告しなければならない。

## 参考資料 .....

RIウェブサイトに掲載された人道的補助金プログラムに関する情報

[www.rotary.org/ja/serviceandfellowship/fundaproject/humanitariangrants](http://www.rotary.org/ja/serviceandfellowship/fundaproject/humanitariangrants)

「マッチング・グラントの手引き」(144-JA)。マッチング・グラントの申請とこれらのプロジェクトの実施に関する総合手引書。

「地区補助金管理のためのベストプラクティス」(156-JA)。地区補助金の実施と管理のベストプラクティス(最善の実施方法)を紹介した手引書。

## 教育的プログラム

---

### 国際親善奨学金

---

目的	海外滞在中に親善使節として国際理解を推進する学生に提供される。
支給	シェアDDF選択所要額： ▶ 1学年度海外へ留学するための1学年度国際親善奨学金は、交通費、授業料、入学金、部屋代と食費、その他の教育関連費またはロータリー関連費を賄うための費用として、一律27,000ドル。
申請手続	地区は国際親善奨学金申請書(139-JA)を提出する。
締切日	地区からの申請書は、10月1日までにロータリー財団必着のこと。地区内の締切日については、地区奨学金小委員会委員長と確認する。
要件	申請者は、大学(短大)における2年間の課程を終えているか、もしくは高等学校を卒業した後一般に認められた職業に2年間以上従事していること。また、親善使節としての役目を務める意欲を備えており、受入国の言語に堪能であることを証明しなければならない。詳細な資格条件についてはRIのウェブサイトを参照のこと。

決定手続	管理委員会が承認した申請者には、12月15日までに確認書が送られる。
対象外	ロータリアン、名誉ロータリアン、クラブ・地区・その他のロータリー団体（国際ロータリーを含む）の職員。および生存するこれらの者の配偶者、直系卑属（血縁または法的な子供または孫、再婚による子供）、直系尊属（血縁の親または祖父母）。直系卑属の配偶者。

お問い合わせは、日本事務局財団室（03-3903-3192）まで。

## ロータリー平和センター

---

目的	ロータリー平和センターのうちの1つで、国際関係、平和、紛争解決とその関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力修了証の取得を目指す学生にロータリー平和フェローシップを提供する。
支給	フェローシップ期間中の旅費、学費、宿泊費、食費およびその他限られた出費。
申請手続	地区が、ロータリー平和フェローシップ申請書（083-JA）を提出する。
締切日	地区は、世界競争制に基づく選考に向け、7月1日までにロータリー財団に申請書を提出する。地区が提出できる申請数に限りはない。各地区の締切日については、地区ロータリー世界平和フェローシップ委員長と確認のこと。
要件	候補者には、下記の事項が要請される。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 希望するロータリー平和センターの修士号あるいは修了証取得プログラムに申請するためには、適切な学部学位が必要である。</li> <li>▶ 関連分野における仕事あるいは奉仕の経験。</li> <li>▶ 平和と国際理解への専心を実践した経験。</li> </ul> 資格基準のすべては、ウェブサイト（ <a href="http://www.rotary.org">www.rotary.org</a> ）を参照のこと。
決定手続	世界競争制に基づき、毎年、修士課程で学ぶ50名と専門能力開発のための修了証取得コースで学ぶ50名のフェローが選ばれる。管理委員会が承認した申請者は、12月15日までに選出の確認書を受け取る。



- ▶ ロータリアン以外の追加チームメンバーに対し、1人あたり米貨2,000ドル（近隣国GSEの場合、1人あたり米貨1,000ドル）。
- ▶ チームのための追加のオリエンテーションの費用として最高で米貨1,000ドル。

低所得国にある地区のみ、国際財団活動資金からさらに以下を申請できる。

- ▶ 来訪GSEチームのための地区内移動費を賄うために、最高600ドルの助成金。
- ▶ 複数国にまたがる低所得地区は、来訪GSEチームを地区内の一つの国からほかの国へ移動させる交通費を賄うために、追加の2,500ドルの助成金。

申請

地区は以下の申請書を提出する。

- ▶ 研究グループ交換地区申請書（ウェブのみ）
- ▶ 研究グループ交換チームリーダー参加申請書(260-JA)
- ▶ 各チームメンバーの研究グループ交換チームメンバー参加申請書（161-JA）

締切日

申請書のロータリー財団への提出締切日は、10月1日。GSEチームリーダーおよびメンバーの申請書が発行日の45日前までに提出されない場合、ロータリー財団はGSEを取り消すか、延期する可能性がある。各地区の締切日は、地区GSE委員会委員長と確認のこと。

要件

ロータリアンではないチームメンバーは、

- ▶ 年齢が25歳から40歳まででなくてはならない。
- ▶ 一般に認められた事業あるいは専門職務において正社員として現在雇用されており、自ら選んだ職業において2年間の経験を有していなければならない。
- ▶ 提唱地区あるいは提唱国の国籍を有していなければならない。
- ▶ 提唱地区に居住もしくは勤務していなければならない。
- ▶ ロータリアンの配偶者、直系家族、もしくは再婚による子（養子縁組の如何にかかわらず）であってはならない。

ロータリアンのチームリーダーは、チーム派遣時において地区ガバナー、直前地区ガバナー、あるいはガバナー・エレクトの職にある人は務めることができない。また前述の役員の配偶者、直系卑属、または再婚による子（養子縁組の如何にかかわらず）であってはならない。元ガバナーは、地区内で公正な選考手続きがとられる限りにおいてのみ、チームリーダーとなることができる。会員の配偶者あるいは家族は、いかなる場合であっても、リーダーやチームメンバーに同行することはできない。全資格基準については、ウェブサイト（[www.rotary.org](http://www.rotary.org)）を参照のこと。

決定手続

1月31日まで、あるいは国際協議会までに組み合わせの確認が地区に通知される。

お問い合わせは、日本事務局財団室（03-3903-3192）まで。

## 参考資料 .....

「ロータリアンのための奨学金の手引き：国際親善奨学金」（012-JA）：クラブと地区が、国際親善奨学生を派遣し、受け入れるのに役立つ情報を収めたウェブ上の出版物。

「国際親善奨学金パンフレット」（132-JA）：クラブや地区が配布するのに適した4色刷りのパンフレット。申請希望者のために、プログラムと申請手続きについて説明。

「学友人道奉仕世界賞パンフレットおよび推薦書」（ウェブのみ）：卓越した財団学友を推薦するための情報と推薦書式。

「リコネクションズ」：隔月で発行される、ロータリー財団学友および関心のあるロータリアンのための会報で、元プログラム参加者の功績やニュースを紹介。

「ロータリアンのためのプログラム手引き：ロータリー平和センター・プログラム」（085-JA）：クラブと地区がロータリー平和フェローを選出し、派遣するのに役立つ情報。

「ロータリー平和フェローシップのパフレット／ポスター」（610-JA）：パンフレットにもポスターにもなり、ロータリー財団のロータリー平和フェローシップおよび6カ所のロータリー平和センターの資料（10枚1セット）。

「ロータリー平和センター学友パンフレット」（092-JA）：国際的な団体や政府機関で働、ロータリー平和センター学友を地域別に紹介。

「平和を築く」(830-DVD)：ロータリー平和センターとロータリー平和フェローシップ・プログラム、およびその歴史、ビジョン、目的を説明する6分間のビデオ。

「研究グループ交換パンフレット」(160-JA)：クラブや地区が配布するのに適した4色刷りのパンフレット。チームメンバーとなる可能性のある人々とその雇用主やロータリアンのために、GSEプログラムと申請手続きについて説明。

「ロータリアンのためのプログラムの手引き：研究グループ交換」(165-JA) (ウェブのみ)。地区がGSEチームを派遣し、受け入れるのに役立つ情報を収めたウェブ上の出版物。

## ロータリー財団学友

---

ロータリー財団学友とは、1947年以来、財団からプログラム補助金(奨学金)を受けた115,000以上の人々のことを指します。財団学友には、国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェロー、研究グループ交換チームリーダーとメンバー、大学教員のためのロータリー補助金の受領者、ロータリーのボランティアを対象とする各種補助金の受領者が含まれます。

これらの才能豊かで献身的な学友は、ロータリーを熟知し、ロータリーの国際理解と世界平和を促進するビジョンを共有しています。学友は、ロータリーの行事で講演したり、ロータリーのプログラムに参加できます。ロータリー・プログラムを人間味あふれる身近なものにし、世界の地域社会への貢献に熱意を示すロータリー財団学友は、財団の強力な推進者です。学友は、地域社会と国際奉仕プロジェクトにボランティアとして奉仕するほか、将来、ロータリー・クラブ会員候補者やロータリー財団への寄付者となる可能性もあります。

卓越したロータリー財団学友を、学友人道奉仕世界賞にぜひ推薦してください。この賞は、学友を対象とする財団で最も荣誉ある賞です。各ロータリー地区は、毎年、資格のある学友1名を推薦することができます。

ロータリー財団学友会は、ロータリー財団学友ネットワークの支部であり、地域別に、あるいは共通の奉仕と親睦を追及するロータリー財団学友によって結成されています。現在、世界各地に68の学友会が存在し、その数は日々増加しています。

講演依頼、あるいはクラブ活動にロータリー財団学友を招きたい場合は、地区学友小委員会委員長にご連絡ください。

お問い合わせは、日本事務局財団室(03-3903-3192)まで。

## 財団の資金

---

### 年次プログラム基金

---

目的	財団プログラムの運営に必要な資金を提供する。寄付の方法を含む詳細は、ロータリーのウェブサイト ( <a href="http://www.rotary.org">www.rotary.org</a> ) を参照のこと。
基金の仕組み	個人、クラブ、地区から寄せられた寄付は、3年間投資される。 3年後 <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 元の寄付額の50パーセントがDDFを通じて地区に戻る。</li><li>▶ 全ロータリー・クラブおよび地区が利用できる財団プログラムを支援するために、元の寄付額の50パーセントが、国際財団活動資金に戻される。</li><li>▶ 投資収益は、管理費を賄うほか、財団のプログラムのために使用される。</li></ul>
認証	年次プログラム基金への寄付は、「財団の友」会員、ポール・ハリス・フェロー認証、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証、ポール・ハリス・ソサエティ、大口寄付者認証の対象となる。

### 恒久基金

---

目的	ロータリー財団とそのプログラムの長期にわたる存続を確実にする。この基金からの収益の使用分により、ロータリー財団は、現存のプログラムを発展させ、新たなプログラムを実施していくことができる。恒久基金に関する情報や寄付方法については、ウェブサイト ( <a href="http://www.rotary.org">www.rotary.org</a> ) を参照のこと。
基金の仕組み	寄付は恒久的に投資される。基金の価値総額の一定の割合が、毎年、ロータリー財団プログラムのために使用される。
種類	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 資産、現金、投資の即時寄付</li><li>▶ 生涯年金寄付 (慈善残余権信託、共同収入基金など)</li><li>▶ 遺言や資産計画を通じての遺贈</li></ul>



認証 米貨1,000ドル以上の寄付を遺言もしくは資産計画に付記したことをロータリー財団に通知した人、もしくは同額の無条件寄付をした人は、ベネファクターとして認証される。資産計画に寄付の誓約(10,000ドル以上)を行ったことを財団に通知した人は、ロータリー財団遺贈友の会会員となる資格を持つ。恒久基金への現金寄付は、大口寄付者認証の対象となる

## 寄付の送り先

---

国際ロータリー日本事務局  
〒115-0045  
東京都北区赤羽2-51-3  
NS3ビル1階  
電話:(03) 3903-3192  
ファックス:(03) 3903-3781

## 寄付の認証

---

目的 財政支援を行った個人を認証する。詳細は、ロータリーのウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) を参照のこと。

種類 「財団の友」会員 (100ドル)  
ポール・ハリス・フェロー (1,000ドル)  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (2,000ドル～9,999ドル)  
ポール・ハリス・ソサエティ (年間1,000ドル)  
ベネファクター (恒久基金へ1,000ドルの寄付もしくは資産計画へ寄付の指定を記す)  
遺贈友の会 (資産計画において最低10,000ドルの誓約)  
大口寄付 (最低10,000ドルの無条件寄付)  
アーチ C. クランフ・ソサエティ (最低250,000ドルの無条件寄付)

お問い合わせは、日本事務局財団室 (03-3903-3192) まで。

## 参考資料 .....

「毎年あなたも100ドルを[パンフレット]」(957-JA)。各クラブ会員への進呈用。ロータリアンがロータリー財団プログラムへ参加、寄付することの必要性を伝えるパンフレット。

「毎年あなたも100ドルを[クラブサクセスキット]」(958-JA)。クラブや地区指導者が、年次プログラム基金目標の達成に向けて取り組むために役立つ情報を収めたセット。

「毎年あなたも100ドルを」ニュースレター。無料の定期受信は、[www.rotary.org/ja/contribute/funds/ereynewsletter/pages/ridefault.aspx](http://www.rotary.org/ja/contribute/funds/ereynewsletter/pages/ridefault.aspx)から。

「毎年あなたも100ドルを[DVD]」(978-MU)。年次プログラム基金寄付で支えられている財団プログラムや補助金の概要を感動的に紹介する9分間のビデオ。

「ポール・ハリス・ソサエティ[パンフレット]」(099-JA)。年次プログラム基金、ポリオ・プラス、人道的補助金プログラムに毎年米貨1,000ドル以上を寄付した人々を認証するために、地区によって運営されているポール・ハリス・ソサエティ・プログラムを推進するパンフレット。

「二つのニーズに応える、二つの寄付方法」(173-JA)。財団の年次プログラム基金と恒久基金の両基金への寄付が必要な理由、どちらの寄付もロータリーの健全な国際奉仕に不可欠であることを説明するパンフレット。

「Securing the Future: Your Bequest to The Rotary Foundation (確かな未来—ロータリー財団への遺贈)」(183-EN)。恒久基金を支援する方法と遺贈の遺言および遺言補足書の書き方の例を紹介。「ベネファクター寄付誓約書」付。

## シェア・システム

---

シェア・システムは、ロータリー財団に寄せられた寄付金が、プログラムの資金や、補助金となって、財団から世界中に配分される仕組みです。

年次プログラム基金への各ロータリー地区の寄付は、寄付年度末に集計され2つの活動資金に分けられ、50パーセントが国際財団活動資金(WF)に、50パーセントが地区財団活動資金(DDF)に割り当てられます。

国際財団活動資金はプログラムに充てられ、寄付額にかかわらず、すべてのロータリー地区とクラブが利用できます。残りの地区財団活動資金(DDF)は、地区が選ぶ財団プログラムおよび補助金のために使用されます。クラブは、地区ロータリー財団委員会を通じて、これらの資金を使用することができます。

## シェアの3年周期

---

シェア・システムのもう1つの特徴は、その独特な資金周期にあります。年次プログラム基金への寄付は、3年間投資され、受領の3年後にプログラムおよび補助金に使用されます。この3年周期は、地区にプログラムの計画や参加者選考のための時間を与えるとともに、財団が、投資収入から管理運営費および寄付増進費を支払うことを可能にします。

お問い合わせは、日本事務局財団室 (03-3903-3192) まで。

## 未来の夢計画

---

ロータリー財団は、現在、新しい補助金モデルに移行するための試験段階にあります。この計画では、新しい補助金構成の下、2種類の補助金が支給されます。

1. **新地区補助金**は、クラブと地区が財団の使命を支える活動を遂行するにあたり、柔軟に活用できる補助金です。地区は、この補助金の資金を、比較的短期間の地元または海外での活動に配分するよう奨励されています。地区は、DDFの50パーセントまでを、年に一括で申請できます。補助金の資金で実施される活動を管理する責任は地区にあり、財団の関与は最小限となります。地区やクラブが提唱する活動にいかにか資金を配分するかは、地区の裁量で決定されます。

2. **グローバル補助金**は、以下の6つの重点分野のいずれかに関連して持続可能で測定可能な成果をもたらす、大規模なプロジェクトに対して支給されます。

平和と紛争予防／紛争解決

疾病予防と治療

水と衛生設備

母子の健康

基本的教育と識字率向上

経済と地域社会の発展

クラブと地区は、独自のグローバル補助金活動を立ち上げることができます。または、協力組織と合同でロータリー財団が立案したプロジェクトを支援するためにパッケージ・グラントのスポンサーとなることもできます。

**クラブと地区が立案するグローバル補助金**

クラブと地区は、グローバル補助金活動の資金を調達するために、DDFまたは現金拠出を活用して、財団からの組み合わせ補助金を申請できます。WF (国際財団活動資金) からのグローバル補助金の最低授与額は、15,000ドルとなります (この場合、プロジェクト資金の合計額は30,000ドルとなります)。DDFに対しては100パーセント (1ドル:1ドル)、現金寄付に対しては50パーセント (0.50ドル:1ドル) が、WFから組み合わせで支給されます。

## パッケージ・グラント(グローバル補助金)

グローバル補助金のパッケージ・グラントは、クラブや地区が、財団の協力組織と手を組んで既成の活動に取り組む機会を提供するもので、活動の資金はWFから全額支払われます。

100地区が、2010-11年度に開始される3年間の新補助金モデルの試験段階(パイロット)に参加します。全クラブと全地区は、2013-14年度から新補助金モデルを使い始めることとなります。

未来の夢計画の詳細と最新情報は、ウェブサイト ([www.rotary.org/ja/future vision](http://www.rotary.org/ja/future-vision)) をご覧ください。

お問い合わせは、日本事務局財団室 (03-3903-3192) まで。

## 参考資料 .....

「未来の夢パンフレット」(003-JA) : 未来の夢計画の概要を説明する資料。

「未来夢試験段階のニュースレター」 : [www.rotary.org/newsletters](http://www.rotary.org/newsletters) で無料定期受信を申し込みます。

## リソース

---

### 一般的な参考資料 .....

「ロータリー財団携帯用カード」(159-JA)。財団の組織、規模、プログラムの統計的な概要を記したカード。

「地区ロータリー財団委員会要覧」(300-JA)。地区ロータリー財団委員会のために作成された参考手引き。

「国際ロータリー年次報告とロータリー財団年次報告」(187-JA)。直前の財政年度の収入と支出、ならびにプログラム情報と概要を掲載したRIおよびロータリー財団の監査済み財務報告(毎年12月に発行)。

## ゾーンの支援源 .....

ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) は、ゾーンまたは地域内の財団プログラムや募金活動を全体的に推進する責務を担います。RRFCは、担当する地区の募金目標やプログラム目標の設定と達成において、ゾーンのチームや地区指導者を研修します。

RRFCチームは、RRFC補佐、ロータリー財団学友コーディネーター (RFAC)、ポリオ・ゾーン・チャレンジ・コーディネーターから成り、各メンバーは、クラブと地区の指導者にとって有用な財団情報源となります。

ロータリー財団の全側面においてRRFCを助けるために任命されるRRFC補佐は、「毎年あなたも100ドルを」を通じて地区が年次寄付目標を達成できるよう助けたり、米貨1万ドル以上の大口寄付を募る支援を行うほか、教育的プログラムや人道的補助金について地区を援助するなど、さまざまな支援に当たります。

ロータリー財団学友コーディネーターは、財団学友にロータリーの活動に参加してもらうよう、ロータリー・クラブや地区を奨励します。また、学友がロータリー・クラブに入会したり、ロータリー財団へ寄付できる可能性があることをクラブに認識してもらい、ロータリー財団プログラムの効果的な推進者として学友を活用するよう呼びかけます。

ゾーンチームのメンバーは、地域、地区、クラブの財団関連行事で効果的な講演や研修を行うことができます。

## 地区の支援源 .....

指導者の継続性を図るため、地区ロータリー財団委員長が3年任期で任命され、理由があれば解任されるものとされています。理由があつて解任となる場合には、財団管理委員長の事前の承認が必要となります。地区ロータリー財団委員長の3年任期中に就任する予定の地区ガバナー（選出されている場合）は、地区ロータリー財団委員長の選出に参加します。選出とロータリー財団への報告は、7月1日の就任前、同年の3月1日までに行います。

地区ロータリー財団委員長は再任することができますが、再任後にもさらに3年の任期を務めなければならない、この3年間に就任する予定のガバナーが選考過程に参加することになります。この役職は、可能な限り元地区ガバナーが務めるように奨励されています（義務づけられているわけではありません）。現職の地区ガバナーは、地区ロータリー財団委員長を務めることができません。地区ロータリー財団委員長が任命されるまで、地区は地区財団活動資金 (DDF) を使用することができず、地区ロータリー財団委員長は、地区ガバナーの指導者チームの下で活動し、DDF使用の決定は、地区小委員会委員長から成る地区ロータリー財団委員会の決定を反映するものとします。地区ロータリー財団小委員会委員長は、これら委員長が就任する年度の地区ガバナーにより、毎年任命されます。

地区ロータリー財団委員長の3年任期の方針に関するご質問は、日本事務局財団室 (03-3903-3192) までご連絡ください。

ロータリー財団  
委員会委員長

---

学友  
小委員会委員長

---

年次寄付  
小委員会委員長

---

補助金  
小委員会委員長

---

研究グループ交換  
小委員会委員長

---

恒久基金  
小委員会委員長

---

ポリオ・プラス  
小委員会委員長

---

ロータリー平和  
フェロースhip  
小委員会委員長

---

奨学金  
小委員会委員長

---





**The Rotary Foundation of Rotary International**

One Rotary Center  
1560 Sherman Avenue  
Evanston, IL 60201-3698 USA  
847-866-3000  
[www.rotary.org](http://www.rotary.org)